



出発進行 ～さあ走りだそう～



CONTENTS

常務理事あいさつ／令和6年度 光道園基本方針	P 2
光が丘ワークセンター・給食センター建設について	P 3
新採用職員紹介	P 4～5
光トピ ～コロナ禍から日常へ	P 6～7
フ・クレール／陶華星	P 8～9
情報開示	P 10～11
能登半島地震支援報告／編集後記	P 12

鯖江つつじマラソンのゼッケン番号については、個人情報保護のため、加工をしています。

光道園SNS・Webサイト発信中！



Instagram



Facebook



ホームページ

社会福祉法人 光道園 基本方針

令和
6年度



社会福祉法人 光道園
常務理事 堀 浩二

令和6年度がスタートし3か月がすぎ、各部署の新採用・異動職員も少しずつ支援・介護に慣れ自信を持ち始めている時期となります。3年に一度の介護報酬改定（医療とのダブル改定）の年度となりご家族様にも周知を行なっておりますが、今回、医療・介護の連携の強化が謳われています。また、介護分野では、前回の改定で打ち出された科学的介護の推進が引き継がれ、科学的介護の推進が加速します。ご利用者の方の情報をLIFE（科学的介護情報システム）でご利用者の状態やケアの計画・内容についてデータを収集し、データに基づいてフィードバックが行なわれます。このシステムにより成果が求められますので、ご利用者の方の状態が良くなり健康でお過ごしいただけるようしっかりと取り組んでいきます。

一方、障害分野では、障害者が希望する地域生活を実現・継続するための支援の充実を図るための支援の量や質の確保、意思決定支援、ピアサポートの推進に加え地域移行の推進が改定のポイントになっています。

下記に基本方針を記載致しましたように、ご利用者の方・職員に向き合い、ご家族・地域の方に耳を傾け、おひとりお一人がどのような想いを持っているのか対象者の立場にたって考えてまいります。現在準備しています新光が丘ワークセンター等整備事業に関しましてもどうぞご理解とご協力をお願い致します。

1. ひとりひとりの人権を尊重し、 尊厳をもって日常生活が送れるよう 総合的なサービスを提供します。

- 一人の人間の尊厳を守り、相手の立場になって考え、優しさや温かみのある態度で接します。
- 二度と虐待を起こさない為のサービス提供体制（しくみ）を構築します。
- ご利用者の要望や苦情を大切に、迅速に対応します。
- ご利用者との対話を優先し、喜びや悲しみを分かち合える関係を築きます。

2. かけがえのない社会の一員として 自立支援に努めます。

- 働く光道園、学ぶ光道園として、それぞれの持っている能力や意欲を最大限に発揮し、自立や就労に繋がるよう支援します。
- ご利用者の夢や希望を個別支援計画（ケアプラン）に落とし込み実現に向け支援していきます。
- 意思決定支援、身体及び精神的自立支援への取組みを実践します。

3. 地域福祉の拠点として、開かれた 施設づくりと地域福祉の推進に努めます。

- 地域ニーズに応える為、短期入所事業・通所事業の強化を行います。
- 法人内でサービスが完結することなく、利用者の方が地域の一員であることを実感していただけるよう地域活動への参加を心がけます。
- 災害時には自治体の要請に応え、地域の高齢者・障がい者（児）を可能な限り受け入れます。
- 地域の活性化に向け、学ぶ場・集う場や機会を設けます。

4. 常に職員の資質向上を図り、 良質なサービスを提供します。

- 「かかわり」「人権」「働く」「学ぶ」「育む」を基本とした重複障がい講座を通じた学びと実践を行います。
- 福祉サービスの質の向上の要となる専門職・リーダー層の育成に取り組みます。
- 余暇活動（芸術・文化）やスポーツによる豊かな生活を支援します。

5. 透明性を堅持し、 健全かつ活力ある法人経営をします。

- 特定社会福祉法人として、理事会の責任において会計監査人の指導の下、財務規律及び内部統制を遵守した運営を行います。
- 新施設及び給食センター・洗浄エリアへの移行をスムーズに行なえるよう取り組みます。
- 職員の想いを拾い風通しの良い環境を作ります。
- 各種ハラスメント防止策について職員一人ひとりの理解を高めます。
- 福祉人材の確保に向け様々な採用手段を講じます。



シン・光が丘ワークセンターに向けて



光が丘ワークセンターでは、新築移転に向けて、利用者の方に少しでも新しい暮らしのイメージを持っていただくために、情報提供や見学会など実施しています。

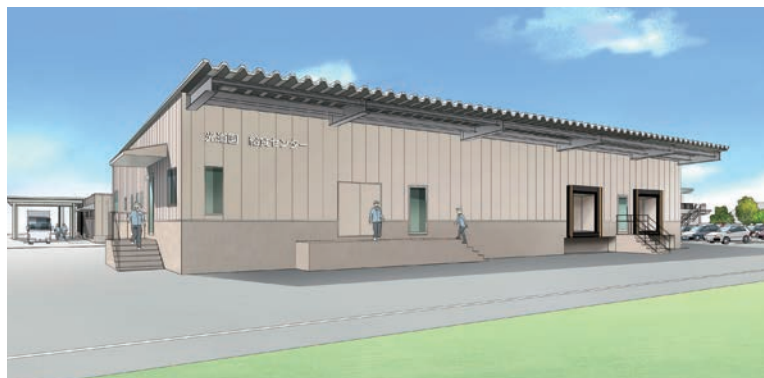
光が丘ワークセンターでは、障がいの状況も多様化しており、お一人おひとりにあった情報提供が求められています。例えば、図面やパースの掲示などによる視覚的な情報提供、視覚障がいがある方向けには「触察による情報提供」、具体的には立体的な図面を作成し触ってもらうことで頭の中で図面を思い浮かべてもらうなど情報提供を行っています。5月初旬には工事現場見学会を行い、施工業者から工事の進捗状況などの説明を受け、より新光が丘ワークセンターに向けての期待を高めていただいています。利用者の方からは、「実感が湧いてきた」「ワクワクしてきた」「この場所なら、買い物するのものの便利」など、より具体的なイメージが湧いてきた声が上がってきています。職員向けにも説明会を行い、新施設でのそれぞれの動きのイメージを持ってもらっています。

タイトルの「シン・光が丘ワークセンター」の「シン」には新築移転であることから「新」という文字の他、「親」という意味も込められています。光が丘ワークセンターがこれから地域の皆様にとって「親しみのある場所」になることが利用者の方、職員にとっての大きな願いです。「シン・光が丘ワークセンター」が地域の風景に溶け込み出した時、「シン（親）」が外れる時だと思っています。新施設に向けての残りの期間、利用者の方の新しい暮らしへの期待と地域の皆様の「シン」に応えるよう、今後も努力していきたいと思えます。

文責:光が丘ワークセンター 青山 直人
写真:光が丘ワークセンター 山田 勝久



給食センター建設について



文責:事務局 食事サービスグループ 山下 悠

令和7年春頃より光道園給食センターの運営が始まります。現在、光道園には厨房が5つあり、野菜の切り込みから調理、食器洗浄に至るまでをそれぞれ個別に運営しています。働き手不足や労務の軽減など、最近ではよく耳にする言葉ですが、調理業界も例外ではありません。光道園では利用者の方々の安定かつ継続した食事提供を実現するため、給食センターの建設に踏み切りました。給食センターでは1日に約2000食の食事を作り、法人内の各施設に配送します。法人内の食器洗浄も一か所に集約します。最新の設備を導入して調理員の働きやすい環境を作り、効率的な運営を目指します。現在は、大型厨房機器の操作や、配送方法などのシミュレーションを繰り返しています。これまでと異なる調理方法での食事提供となりますが、食を想う気持ちはこれまで以上に強く、栄養士一丸となってこれからの光道園の食文化を築いていきたいと思えます。



竹野 千花

(ライフトレーニングセンター きらら館)

仕事の目標

利用者が楽しく生活できるよう支援する。何事にも臨機応変に対応して仕事に取り組む。

趣味・最近ハマっていること

ゲーム(スマホゲーム等)・サッカー。



佐々田 夕希

(ライフトレーニングセンター さくら館)

仕事の目標

仕事を早く覚えて自分で行動できるようにする。

趣味・最近ハマっていること

趣味は友達と旅行に行くこと。ハマっていることは仕事終わりに散歩に行くこと。



山本 結人

(ライフトレーニングセンター きらら館)

仕事の目標

決まった時間までに仕事を終わらせる。

趣味・最近ハマっていること

定食屋さん巡り。



谷口 楓

(ライフトレーニングセンター さくら館)

仕事の目標

利用者が安心して過ごせるよう一つ一つ丁寧に支援する。利用者の方と笑顔で接する。

趣味・最近ハマっていること

好きな曲を聴ながらドライブ。



高島 桃花

(ライトホープセンター もえぎ館)

仕事の目標

利用者さんの様子を観察し、今よりも細かい変化に気付くことができる職員になりたい。

趣味・最近ハマっていること

美展への出展、アロマ。



高田 結希菜

(ライトホープセンター あさぎ館)

仕事の目標

利用者さんや職員とのコミュニケーションを大切にしながら、たくさんの方とかわっていききたい。

趣味・最近ハマっていること

好きなアーティストの音楽を聴くこと。



林 美織

(ライトホープセンター もえぎ館)

仕事の目標

利用者の方との時間を大切にできる。

趣味・最近ハマっていること

旅行に行くこと。



三田村 健杜

(ライトホープセンター あさぎ館)

仕事の目標

利用者の方と信頼関係を築けるような職員になりたい。

趣味・最近ハマっていること

音楽鑑賞、サイクリング。

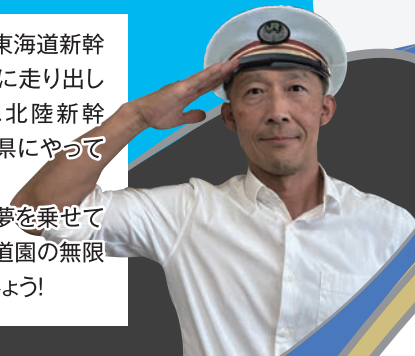


光道園 新幹線 出発進行！

光道園 kodoen

令和6年4月、光道園新幹線に乗車した新たな仲間14名を紹介します。
行き先は、光道園未来駅。職員一同、力を合わせて発車オーライ！

夢の超特急といわれた東海道新幹線 ひかり号が1964年に走り出して60年目の2024年に北陸新幹線 かがやきetcが福井県にやってきました！
新採用職員の皆さん、夢を乗せて「ひかり」「かがやき」光道園の無限のレールを突き進みましょう！



理事 山田 勝久

相馬 咲夕珠

(事務局 食事サービスグループ)

仕事の目標

利用者の方に寄り添い、信頼していただける職員になりたい。

趣味・最近ハマっていること

お菓子作り。



松田 大翔

(ライトワークセンター)

仕事の目標

利用者の方に頼ってもらえるような職員になる。

趣味・最近ハマっていること

スポーツ観戦、ゲームなど。



梅田 司

(第二光が丘ハウス)

仕事の目標

利用者一人ひとりの声に耳を傾ける。

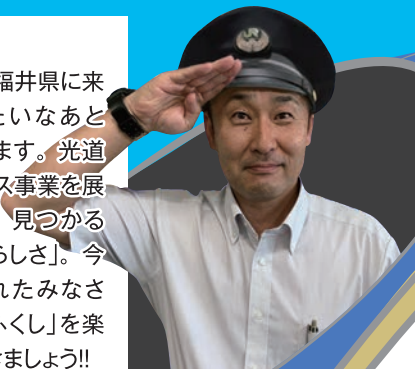
趣味・最近ハマっていること

タロット占い、アニメ鑑賞、グッズ集め。



ようこそ、光道園へ!!

北陸新幹線が開通し、福井県に来てみたい、また、来たいなあと思った方も多いと思います。光道園は多くの福祉サービス事業を展開しています。きっと、見つかる「わたしらしさ、あなたらしさ」。今年、光道園に入職されたみなさま、私たちと一緒に「ふくし」を楽しみながら、歩いていきましょう!!



理事 村岡 英明

ディアズ アンジェリカ ギリエナ

(第三光が丘ハウス)

仕事の目標

利用者の方とのコミュニケーションを大切に、信頼関係を築き、毎日笑顔をつくりたい。

趣味・最近ハマっていること

映画鑑賞、写真を撮ること、旅行に行くこと。



西川 未来斗

(光が丘ワークセンター)

仕事の目標

言われたことを素直に受け止め、行動にうつせるようになりたい。

趣味・最近ハマっていること

太鼓を叩くこと、絵を描くこと、グミを食べること。



アガピト アンマリー

(第三光が丘ハウス)

仕事の目標

業務を覚えて全体的な流れを掴み、利用者様に安心と適切な生活を送って頂けるよう支援が出来ること。

趣味・最近ハマっていること

旅行、カフェ巡り、コスメ集め。



光 ト ピ

～コロナ禍から日常へ～

ライトワークセンター
つつじマラソン ナイスランニングワーク

5月12日にライトワークセンターの利用者の方4名が鯖江で開催されたつつじマラソンに参加しました。全員が3キロコースでのエントリー。昨年も参加しており、昨年の記録を超えることと、今年も完走することなどそれぞれに目標を決め、本番に向け職員と一緒に練習を重ねてきました。

当日の天気は曇りのち雨。雨が降ることが心配されましたが、走っている間には青空が見られる場面もありました。ある利用者の方は、始めは勢いよく走りだしましたが、途中「疲れた」と言って歩きだしてしまいました。しばらく歩いていけると沿道の「がんばれ」「あと少し」と言った声援に背中を押し「はい」と返事をしてまた走りだしてしまいました。歩きながら自分のペースで無事完走する事ができました。

今回、残念ながら全員が完走とはいきませんでした。それが今できる精一杯の走りをする事ができました。伴走をした職員にとっても利用者の方と、とてもよい時間を過ごすことができました。次は、越前市で開催予定の「菊花マラソン」と意気込む様子も見られています。今回の記録を少しでも超えられるよう職員と利用者の方の新たな挑戦が始めています。

文責・写真：ライトワークセンター 三明 俊由



ライフトレーニングセンター
さくら館

ふるさと訪問

新型コロナウイルスが落ち着き、4年ぶりにふるさと訪問をすることを伝えると毎日、嬉しそうに繰り返し「お父さんは？」「5月」と楽しみにされていました。また再会前からお父さんより、その日のスケジュールや待ち合わせ場所なども細かく、丁寧なお手紙をいただいでいました。コロナ前は毎年、会う事ができていた大好きなお父さんとお母さん、5月30日によやくの再会を実現できています。当日は、昔から家族と一緒に出かけていた、思い入れのあるショッピングセンターのフードコートで好物のカレーライスを食べ、大好きなパンを買いに行きました。たくさんあるパンの中から自分が食べたいパンを自分からお父さんに伝えられ、公園で久しぶりの家族と団欒しながら食べられていました。

帰り際、お父さんから「あと何回、会うことができるか、わからないが今回、会って元気な姿を見ることができて良かった。」と来てくれてありがとう。「と目に涙を浮かべながら言われ、親子の絆をしみじみと感じます。久しぶりに再会し、親子3人の嬉しそうな表情を見てこちらまで嬉しくなりました。久しぶりで終始、気持ちが高揚されていました。久しぶりで、さくら館に戻ってから「今日はお父さんに会った」と嬉しそうに職員に伝えていました。出発前に言葉で伝えられても「ほんとに会えるのかな。どこに行くのかな。また光道園に戻ってこれるのかな」と不安もあったかもしれません。けれどこの時間はご家族3人にとっても大切な思い出になったと思います。この感動的な再会に立ち会えたことは、私にとって良い経験になりました。これからもさくら館では、家族との関わりも大切に、楽しく元気に生活できるようにしていきたいとさらに気持ちが強くなりました。「また会いに行きましようね」

文責・写真：ライフトレーニングセンター 佐々木 俊記



第二光が丘ハウス

「ピクニックがしたい」～利用者の方の声に寄り添って～

2年前、まだコロナウイルス感染対策の為に外出制限や活動制限をせざるを得なかった時期に、養護老人ホームでは「コロナ禍であっても利用者の方の笑顔が見たい」、「利用者の方と一緒に楽しめる時間を作りたい」という想いから、『笑顔プロジェクト』という取り組みを始めました。目的や要望、利用者の方同士の関係性を考慮した5人程度の小グループに分かれて、施設内でも楽しめるお菓子作りやカラオケ、レクリエーション等を行っています。

昨年度から少しずつ施設外への活動幅も増やしている中で、利用者の方から「ピクニックがしたい」という言葉が聞かれました。職員もワクワクする思いで計画を立て、公園でのピクニック外出を実施しました。利用者の方と一緒に芝生の上で心地いい風にあたりながら大の字になって寝転んだり、美味しい珈琲を飲んでゆっくり過ごすことができ「本当に楽しかった。また行きたいね」と満面の笑みで話をされていました。



この笑顔プロジェクトを通して、利用者の方一人一人の希望に耳を傾け、一緒に計画を立てて実現していきたいと思っております。今後も利用者の方、職員にとっても思い出に残る笑顔溢れる時間となりますように。

文責・写真：第二光が丘ハウス 山口 真由



朝日事業所

ほおば飯 ～職員、利用者の方 絆深まる～

5月、田植えの時期に合わせて、朝日事業所内の各施設では、福井県の郷土料理である「ほおば飯」が昼食として提供されました。田植えが終わったあとのお祝いとしてふるまわれてきた「ほおば飯」は、光道園の朝日事業所でも20年以上前から食事として親しまれています。毎年、提供を楽しみにしている利用者の方も多く、新型コロナウイルス流行以前までは、職員と利用者の方が前日に山まで朴葉採取に行くこともありました。

現在、朴葉採取は行われていませんが、「ほおば飯」の提供は続いており、前日から葉を洗い、一部の施設では利用者の方の中から希望を募り、職員や栄養士と一緒に「ほおば飯」作りを楽しんでいます。今年も「ほおば飯」作りを行った施設では、利用者の方々が真剣な表情で、ご飯にきな粉をふりかけ、大きな朴葉で包む姿が見られました。時には昔を思い出すように職員と言葉を交わし、協力しながら次々と作り上げていました。

提供時には温かいご飯に朴葉の香りが馴染み、どの施設の利用者の方も「おいしかった。」「また食べたい。」「満足そうに頬張っています。」「ほおば飯」作りを通して、利用者の方々は思い出を語り合い、職員との交流を楽しんだようです。



文責・写真：事務局 食事サービスグループ 村本 花奈

光と笑顔のパン工房

「フ・クレール」へようこそ



国産小麦と米粉を使用した、添加物・保存料・着色料不使用の手作りパンとお菓子をお届けする「フ・クレール」。総菜パンやクッキーはもちろん、根強い人気を誇る「ゆだね食パン」、マーブル食パン、グラハム食パン、大人気のチーズケーキなど、幅広いラインナップをご用意しています。チーズケーキとお菓子は、ふるさと納税の返礼品としても好評をいただいています。

最近では利用者の方からの声やアイデアをもとに、ミニパンやスコーンなどの新商品も誕生しました。また、地域のコーヒーショップと連携し、コーヒーと相性の良いお菓子の開発・販売も行っています。店舗には、小さなお子様連れのご家族から学生さんまで、幅広い世代のお客様にご来店いただいております。

気軽にお買い物を楽しんでいただけるよう、ペイペイ決済も導入しました。今後は、各種イベントへの出店を増やし、多くの方にフ・クレールを知っていただき、地域に笑顔と安心をお届けできるよう取り組んでまいります。また、4月から開設した公式Instagramでは、開発中の商品や新商品、期間限定商品などの情報を随時発信しています。「こんなパンが食べたい」「こんなお菓子を作ってほしい」など、皆様のご意見をお待ちしております。

委託作業では、業者から依頼された製品の他にも、マグネット帽子やブローチ、キーホルダーなどの自主製作も行っています。これらは、利用者の方の「こんなものを作りたい!」「私たちも作りたい!」という言葉が形となり製作が決まりました。マグネット帽子は、利用者の方一人ひとりが様々な生地の中から最適な柄を選び、手縫いで一個ずつ心を込めて製作しています。とても細かい作業ですが、作業そのものが楽しく、利用者の方同士や職員とのコミュニケーションの場となり、明るく和やかな作業風景が広がっています。



最後になりますが、店名であるフ・クレールの「クレール (Clair)」はフランス語で「光」という意味を持ちます。店内からは暖かい光に包まれた感覚を、商品一つ一つからは心のこもった希望の光を感じられると思います。ぜひフ・クレールに足を運んで、その光を感じてみてください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。 文責・写真:フ・クレール 中村 洋美

道の駅「越前たけふ」にフ・クレールがOPEN!!



北陸新幹線越前たけふ駅に隣接している道の駅「越前たけふ」内にフ・クレールも商品販売ブースを展開しています。お近くへお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。人気のにじいろクッキーほか色々な商品を取り揃えております。

お問合せ先
〒916-0146 福井県丹生郡越前町朝日1-504
TEL. 0778-34-8801 (直通)
FAX. 0778-34-8831 (直通)



ライトワークセンター

北陸新幹線開業



～ 汽車土瓶製作～

今年3月の新幹線開業に向けて、昨年7月より福井県の発注を受け、汽車土瓶の製作という、陶華星として新たなチャレンジの始まりでした。

汽車土瓶は駅弁と共に提供されていたお茶の容器のことです。明治20年代から昭和40年代まで「鉄道の旅の友」として活躍してきました。

汽車土瓶の製造は主に信楽や益子、瀬戸等で生産されていましたが、福井県内でも昭和20年代に福井陶器製造所(のちに福井村田製作所に吸収合併)で、汽車土瓶の製造が行われ、福井県オリジナルデザインのものを作られていました。このオリジナルデザインの複製版の依頼を受けました。

汽車土瓶の製造は、石膏型に泥漿(でいしょう)と呼ばれる泥状の粘土を注入し、焼き物を成型する伝統的な製法です。福井県内の窯元では現在、この泥漿鑄込みという製法が出来る窯元は、陶華星だけだということまで白羽の矢が当たりました。

今回の汽車土瓶の製造は苦難の連続でした。まず、納期が新幹線の開業に合わせて、3月末までと短期間だったこと。また1,050個と大量の注文があったこと。他にも干支や越前焼などの日々の製作に加えて作業をしなければならないこともあり、



納期に間に合うのかという不安がありました。またお茶の注ぎ口や持ち手のひも状のものを通す穴の部分については、成型した茶器に後から接合するために乾き方を一定に保たないと接合した部分が剥がれてくるため、この部分の製作にはとても気を使いました。いろんな試練はありましたが完成に向けて何度も試行錯誤を繰り返し、職員・ご利用者の方が一丸となって進めてきました。

北陸新幹線金沢～敦賀間の開業を記念し鉄道の旅を彩った焼き物達に焦点をあてた「鉄道の旅を彩ったやきもの」特別展が3月2日～6月23日まで福井県陶芸館にて開催されました。このような企画展に授産施設の陶華星の製品が展示される機会をいただいたことは、製作に携わった職員・ご利用者の方共ども大変喜んでとともに誇りに思いました。

のぞみ工房
陶華星

〒916-8585 鯖江市和田町9-1-1
光道園ライトワークセンター内「陶華星」
TEL(0778)62-8103 FAX(0778)62-3775

越前陶芸まつり



5月25、26日に越前町旧宮崎地区にて開催された「第42回越前陶芸まつり」に陶華星の方も出店をしてきました。「越前陶芸まつり」は、越前焼の窯元が一堂に会し、新作や特価品などを販売する福井県最大の陶器市です。今回は51の窯元が出店をしています。「越前陶芸まつり」の主役でもある越前焼は日本六古窯のひとつで、鉄分の多い赤土で焼き締めた素朴な焼き物です。

両日ともお天気に恵まれ、たくさんの来場者の方がおり、陶華星のテントブースの方にもたくさんのお客さんが足をふみ入れて下さいました。皆さんひとつひとつ製品を手に取り、じっくり見て、お目当ての陶器を見つけて購入をされていました。陶華星のことを知っていただく良い機会となりました。

今後も新たなことに挑戦し取り組んでいきたいと思っています。

文責・写真：ライトワークセンター 有馬 育弥



越前たけふ道の駅「陶華星」出店!!

道の駅越前たけふに、昨年8月から陶華星が出店をしています。北陸新幹線をご利用の際は、福井県を代表する伝統工芸品、越前焼をお土産にいかがでしょうか。がおー君も待ってるよ!

陶華星
Instagram



貸借対照表 法人全体

(令和6年3月31日現在) (単位:千円)

勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
資産の部				負債の部			
流動資産	1,285,923	1,316,284	△30,361	流動負債	288,579	249,877	38,702
現金預金	830,632	877,484	△46,852	事業未払金	123,848	95,895	27,953
事業未収金	448,154	431,937	16,217	その他の未払金	1,990	5,881	△3,891
未収補助金	2,861	3,574	△713	1年以内返済予定リース債務	1,628	1,628	0
商品・製品	229	345	△116	1年以内返済予定長期未払金	1,931	1,371	560
原材料	858	607	251	預り金	88	11	77
前払費用	2,456	1,705	751	職員預り金	46,360	31,807	14,553
1年以内回収予定長期貸付金	820	960	△140	仮受金	1,114	516	598
仮払金	66	16	50	賞与引当金	111,620	112,768	△1,148
徴収不能引当金	△153	△344	191	固定負債			
固定資産	5,486,152	5,331,550	154,602	リース債務	172,751	168,723	4,028
基本財産	3,017,430	3,016,109	1,321	退職給付引当金	3256	4,885	△1,629
土地	475,330	322,049	153,281	役員退職慰労引当金	161,219	156,412	4,807
建物	2,542,100	2,694,060	△151,960	長期未払金	2,800	2,400	400
その他の固定資産	2,468,722	2,315,441	153,281		5,476	5,026	450
土地	124,453	179,565	-55,112	負債の部合計	461,330	418,600	42,730
建物	182,565	189,695	△7,130	純資産の部			
構築物	27,053	33,337	△6,284	基本金	969,413	969,413	0
機械及び装置	1,478	1,572	△94	第一号基本金	862,713	862,713	0
車輛運搬具	6,853	12,469	△5,616	第二号基本金	106,700	106,700	0
器具及び備品	152,458	170,444	△17,986	国庫補助金等特別積立金	958,225	1,022,266	△64,041
有形リース資産	3,036	4,049	△1,013	国庫補助金等特別積立金(整備時分)	958,225	1,022,266	△64,041
権利	1,861	2,106	△245	その他の積立金	1,581,628	1,338,544	243,084
ソフトウェア	10,490	16,598	△6,108	その他の積立金	1,581,628	1,338,544	243,084
無形リース資産	1,849	2,464	△615	次期繰越活動増減差額	2,801,479	2,899,011	△97,532
投資有価証券	200,000	200,000	0	(うち当期活動増減差額)	145,551	140,553	4,998
長期貸付金	5,615	5,040	575				
退職給付引当資産	161,219	156,413	4,806				
その他の積立資産	1,584,428	1,340,944	243,484	純資産の部合計	6,310,745	6,229,234	81,511
長期前払費用	5,364	745	4,619	負債及び純資産の部合計	6,772,075	6,647,834	124,241
資産合計	6,772,075	6,647,834	124,241				

資産・負債の内容	
II 負債の部	
1. 流動負債	
事業未払金	123,849
その他の未払金	1,990
1年以内返済予定リース債務	1,628
1年以内返済予定長期未払金	1,931
預り金	88
職員預り金	46,360
仮受金	1,114
賞与引当金	111,620
流動負債合計	288,580
2. 固定負債	
リース債務	
退職給付引当金	161,219
役員退職慰労引当金	2,800
長期未払金	5,476
固定負債合計	169,495
負債合計	458,075
差引純資産	6,314,000

財産目録

令和6年3月31日現在 (単位:千円)

資産・負債の内容	
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	830,632
事業未収金	448,154
未収補助金	2,861
商品・製品	228
原材料	858
前払費用	2,456
1年以内回収予定長期貸付金	820
仮払金	67
徴収不能引当金	△153
流動資産合計	1,285,923
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
土地	475,330
建物	2,542,101
基本財産合計	3,017,431
(2) その他の固定資産	
土地	124,453
建物	182,565
構築物	27,053
機械及び装置	1,478
車輛運搬具	6,853
器具及び備品	152,458
有形リース資産	3,036
権利	1,860
ソフトウェア	10,490
無形リース資産	1,849
投資有価証券	200,000
長期貸付金	5,615
退職給付引当資産	161,219
その他の積立資産	1,584,428
長期前払費用	5,364
その他の固定資産合計	2,468,721
固定資産合計	5,486,152
資産合計	6,772,075

役員名簿

令和6年07月01日現在

役職名	氏名
理事長	荒木 博文
常務理事	堀 浩二
理事	角 佳津見
理事	孝久 忠央
理事	加藤 泰雄
理事	山田 勝久
理事	村岡 英明
監事	野村 茂三
監事	白井 尊志

評議員名簿

令和6年07月01日現在

役職名	氏名
評議員	春木 誠一
評議員	松木 健一
評議員	矢納 正人
評議員	樋村 登
評議員	宮川 深雪
評議員	八田 玉江
評議員	渡邊 照夫
評議員	山崎 ふみ子
評議員	棟田 隆文
評議員	河野 純子

事業活動計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日 (単位:千円)

勘定科目	当年度決算	前年度決算	増減
(サービス活動増減の部)			
介護保険事業収益	652,897	635,696	17,201
老人福祉事業収益	247,760	250,043	△2,283
就労支援事業収益	27,700	24,362	3,338
障害福祉サービス等事業収益	2,145,196	2,145,397	△201
その他の事業収益	4,275	3,933	342
養成研修事業収益	216	360	△144
経常経費寄附金収益	67,658	13,394	54,264
サービス活動収益計	3,145,702	3,073,185	72,517
人件費	2,027,735	1,994,048	33,687
事業費	437,138	435,654	1,484
事務費	352,179	329,769	22,410
就労支援事業費用	31,198	28,659	2,539
利用者負担軽減額	300	299	1
減価償却費	224,380	241,523	△17,143
国庫補助金等特別積立金取崩額	△65,214	△73,205	7,991
徴収不能引当金繰入	153	344	△191
サービス活動費用計	3,007,869	2,957,091	50,778
サービス活動増減差額	137,833	116,094	21,739
(サービス活動外増減の部)			
受取利息配当金収益	3,992	3,988	4
その他のサービス活動外収益	21,929	27,644	△5,715
サービス活動外収益計	25,921	31,632	△5,711
その他のサービス活動外費用	17,680	16,296	1,384
サービス活動外費用計	17,680	16,296	1,384
サービス活動外増減差額	8,241	15,336	△7,095
経常増減差額	146,074	131,430	14,644
(特別増減の部)			
施設整備等補助金収益	1,195	1,149	46
施設整備等寄付金収益	0	10,732	△10,732
その他の特別収益	344	382	△38
特別収益	1,539	12,263	△10,724
固定資産売却損・処分損	866	0	866
国庫補助金等特別積立金積立額	1,195	3,140	△1,945
特別費用計	2,061	3,140	△1,079
特別増減差額	△522	9,123	△9,645
当期活動増減差額	145,552	140,553	4,999
(繰越活動増減差額の部)			
前期繰越活動増減差額	2,899,011	2,953,408	△54,397
当期末繰越活動増減差額	3,044,563	3,093,961	△49,398
その他の積立金取崩額	120,716	750	119,966
その他の積立金積立額	363,800	195,700	168,100
次期繰越活動増減差額	2,801,479	2,899,011	△97,532

資金収支計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日 (単位:千円)

勘定科目	本年度予算額	本年度決算額	差異
介護保険事業収入	649,480	652,897	△3,417
老人福祉事業収入	247,160	247,759	△599
就労支援事業収入	31,490	27,701	3,789
障害福祉サービス等事業収入	2,140,960	2,145,196	△4,236
その他の事業収入	4,220	4,275	△55
養成研修事業収入	210	216	△6
経常経費寄附金収入	66,710	67,657	△947
受取利息配当金収入	4,100	3,992	108
その他の収入	21,490	21,929	△439
事業活動収入計	3,165,820	3,171,622	△5,802
人件費支出	2,026,260	2,023,866	2,394
事業費支出	444,250	437,138	7,112
事務費支出	365,830	356,950	8,880
就労支援事業支出	31,020	30,847	173
利用者負担軽減額	350	300	50
その他の支出	18,180	17,680	500
事業活動支出計	2,885,890	2,866,781	19,109
事業活動資金収支差額	279,930	304,841	△24,911
施設整備等補助金収入	1,330	1,195	135
施設整備等収入計	1,330	1,195	135
固定資産取得支出	126,500	125,859	641
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,740	1,628	112
施設整備等支出計	128,240	127,487	753
施設整備等資金収支差額	△126,910	△126,292	△618
長期貸付金回収収入	4,500	4,500	0
投資有価証券売却収入	10	0	10
積立資産取崩収入	131,910	132,975	△1,065
その他の活動収入計	136,420	137,475	△1,055
長期貸付金支出	5,430	5,415	15
投資有価証券取得支出	50	0	50
積立資産支出	381,450	381,076	374
その他の活動支出計	386,930	386,491	439
その他の活動資金収支差額	△250,510	△249,016	△1,494
予備費支出	3,860	0	3,860
当期資金収支差額合計	△101,350	△70,467	△30,883
前期末支払資金残高	1,179,328	1,179,328	0
当期末支払資金残高	1,077,978	1,108,861	△30,883

苦情解決・ヒヤリハット・事故報告

苦情受付・申出人分類

(過去5年間)

申出人	R1	R2	R3	R4	R5
利用者	53	29	40	45	89
家族	53	24	28	45	68
知り合い	0	0	2	2	2
地域の方	12	6	2	9	10
その他	7	3	8	6	5
合計	125	62	80	107	174

ヒヤリハット・事故

(令和5年度)

転倒	転落	滑落	投棄ミス	喉つまり	誤飲
184	23	65	102	13	4
自傷	他傷	機器	入浴	医療	徘徊外出
1	31	6	7	2	8
無断外出	異食	異物混入	その他	合計	
12	10	9	141	618	

- ・令和5年度における苦情受付状況は法人全体で174件(前年度比67件増)の報告がありました。年度末には虐待防止および苦情解決第三者委員会を開催し、助言や苦情解決および虐待防止への改善、解決方法などを検討し、同様の再発防止および啓発に努めています。
- ・ヒヤリハット・事故報告は、各施設において利用者の安全な生活環境を目指して、重大事故予防のための事例検討と対策、職員事故予防に対する意識高揚に努めています。上記表の項目につきましては、令和5年度は618件の報告がありました。いずれも当法人ホームページに情報公開をしております。

URL:<https://www.kodoen.or.jp/>

災害派遣福祉チーム(DWAT)で

被災地の支援活動に行ってきました。

私は4月14日～18日の5日間、能登町の介護施設にて災害派遣福祉チーム(DWAT)の一員として、災害地支援に行かせていただきました。

発災から4月18日の時点で、福井県からは全16チーム、66名が石川県内で支援活動に当たってきました。支援活動を通して印象に残ったのは地震によって傷ついた街並みと対照的に前向きに生活されている職員、ご利用者の姿です。支援活動の初日に「いつまでも被災地という環境に甘んじてはいけない。」と現地職員のリーダーの言葉があり、自身が被災している中でご利用者の普段の日常を取り戻そうと支援に励まされてい



ました。地震後の施設の修繕が着々と進み、ご利用者の外出行事を再開する等、日々の日課を平時と同様に戻す試みが見られていました。そのような施設側の努力が美り、私が関わらせていただいた多くのご利用者は被災されたことを過去の思い出のように語られており、心情としてはすでに日常に戻っておられるような印象でした。被災した街並みを見ていると、被災したことを悲しまれたり、落ち込んでおられる方が多いだろうと想像していましたが多くの方の笑顔が見られ安心しました。前向きな職員やご利用者の笑顔、生き様に元気をもらいました。



同じDWAT隊員からも多くの学びをもらいました。現地の方の力になりたいという熱意を持ってもらえる方や、効率的な介助方法やご利用者にスムーズに気持ちを切り替えてもらうための介助に長けた方がおられ、支援員としてたくさんのことを学び、今後の業務の為の活力となりました。

これからも被災地の方が心安らかに生活できるよう支援を継続したいと考えております。また、被災地の支援をしたいと考えておられる方に今回のような支援活動の情報を発信し支援の輪を広げていきたいと思っております。

文責・写真:リハビリ支援センター 米田 裕興

編集後記

今号も絆の杜をお読みいただきありがとうございます。新年度になり、今回から新しい広報委員会のメンバーで絆の杜を制作しています。初めての編集作業となりますが皆さんに楽しんでいただける内容をお届けしたいと思っております。

今回のタイトルは、「出発進行くさあ走りだそう」。コロナ禍を乗り越え、感染症の分類も五類に移行した今、ようやく外の世界に飛び出すチャンスが訪れました。このタイトルには利用者の皆さんがコロナ禍から解放され外に向かって力強く一歩を踏み出す姿をイメージしています。

暖かくなり、屋外での活動が増える季節になりました。利用者の方もつじまらソングへの参加、西山公園の散歩など以前はコロナ禍で制限されて出来なかった活動を楽しまれています。利用者の皆さんの笑顔がますます輝く瞬間を目にすることが出来ると嬉しです。

これからの季節、様々なイベントや活動が予定されています。広報誌を通じて、その楽しさや感動を皆さんと共有できるように、心を込めて記事を作成していきます。利用者の皆さんやご家族、地域の方々と一緒にコミュニケーションを深め、より良い情報発信を目指していきたいと思っております。

最後に、これからも皆さんと共に楽しい情報をお届けし、笑顔あふれる日々をサポートしていきます。次回の広報誌もお楽しみに！

社会福祉法人 光道園

社会福祉法人 光道園 法人本部

鯖江市和田町9-1-1

障害者支援施設 ライトワークセンター

鯖江市和田町9-1-1

障害者支援施設 ライトトレーニングセンター

鯖江市和田町9-1-1

日中生活介護事業 たねのいえ

鯖江市和田町9-1-1

相談支援センター こうどうえん

鯖江市和田町9-1-1

社会福祉法人 光道園 朝日事業所

丹生郡越前町朝日22-7-1

養護老人ホーム 第一光が丘ハウス

丹生郡越前町朝日22-7-1

養護(盲)老人ホーム 第二光が丘ハウス

丹生郡越前町朝日22-7-1

特別養護老人ホーム 第三光が丘ハウス

丹生郡越前町朝日22-7-1

通所介護事業所 デイサービスセンターさざんかホール

丹生郡越前町朝日22-7-1

訪問介護事業所 ヘルパーステーションさざんか

丹生郡越前町朝日22-7-1

在宅介護支援センター さざんかホール

丹生郡越前町朝日22-7-1

居宅介護支援事業所 さざんかホール

丹生郡越前町朝日22-7-1

地域包括支援センター 丹生

丹生郡越前町朝日22-7-1

障害者支援施設 光が丘ワークセンター

丹生郡越前町朝日22-2-2

障害者支援施設 ライトホープセンター

丹生郡越前町朝日22-3-1

日中生活介護事業 わかば館

丹生郡越前町朝日22-3-1

こども支援センター えがお

丹生郡越前町朝日1-201

越前町相談支援センター さざんか

丹生郡越前町朝日1-201

就労支援事業所 フ・クレール

丹生郡越前町朝日1-504

共同生活援助事業所 とらいと

丹生郡越前町朝日1-505

共同生活援助事業所 みらいと

丹生郡越前町朝日1-218

光道園

検索

<https://www.kodoen.or.jp/>